

4. 仕事や収入に関すること

これまでの調査で就労や収入と県民の幸福実感には関連があり、男性は就労の不安定さや収入の少なさが結婚のハードルとなること、高齢者や専業主婦の高い就労意欲などが見られました。県民の幸福実感向上のためには、就労と収入それぞれがどのように幸福実感と関連するかなどの分析も必要と考えています。また、これら分析は人口減少問題、特に社会減の課題である「働く場」の議論にも資すると考えられます。

ここでは、「仕事や収入に関すること」をテーマとして質問した「希望する就業時間」、「働くにあたって重視すること」、「生活費の不足感」などの集計結果について記載しています。

項目	質問文の概要
希望する就業時間	・もしあなたが希望する時間だけ働く（収入のある仕事をする）ことができるのであれば、あなたは一週間に何時間くらい働きたいですか。現在働いている方も、そうでない方も全員お答えください。（問9）
働くにあたって重視すること	・あなたが働く（収入のある仕事をする）にあたり、最も重視することは何ですか。現在働いている方も、そうでない方も、全員お答えください。（問10）
生活費の不足感	・あなたは、生活費が足りないと感じる時はありますか。（問11）
主な職業	・あなたの主な職業は何ですか。（問12）
実際の就業時間	・通常、一週間に働く時間（残業時間を含み、通勤時間は除く）はどのくらいですか。（問12-2）
個人の年間収入	・あなたご自身の年間収入（税込み）はどのくらいですか。（問12-3）

もしあなたが希望する時間だけ働く（収入のある仕事をする）ことができるとすれば、あなたは一週間に何時間くらい働きたいですか。現在働いている方も、そうでない方も全員お答えください。
（○は1つだけ） (問9)

➤ 希望する就業時間

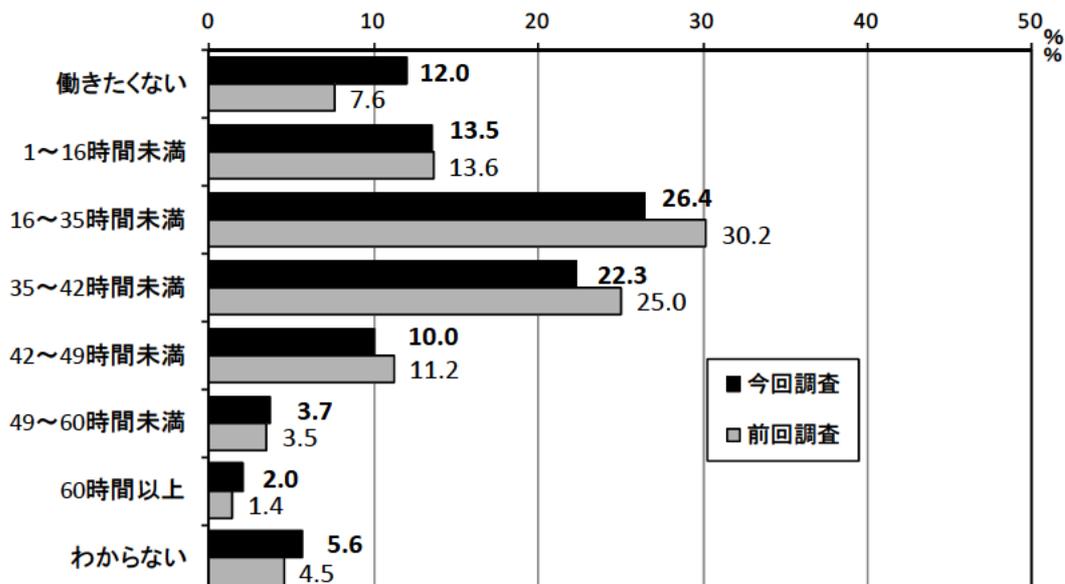
○ 希望する就業時間（1週間）を現在働いていない方も含め全員に質問したところ、「16～35 時間未満」の割合が 26.4%で最も高く、次いで「35～42 時間未満」（22.3%）、「1～16 時間未満」（13.5%）の順となっています。また、「働きたくない」の割合は 12.0%、「60 時間以上」は 2.0% となっています。

前回調査と比較すると、「16～35 時間未満」が 3.8 ポイント、「35～42 時間未満」が 2.7 ポイントそれぞれ低くなり、「働きたくない」が 4.4 ポイント高くなっています。

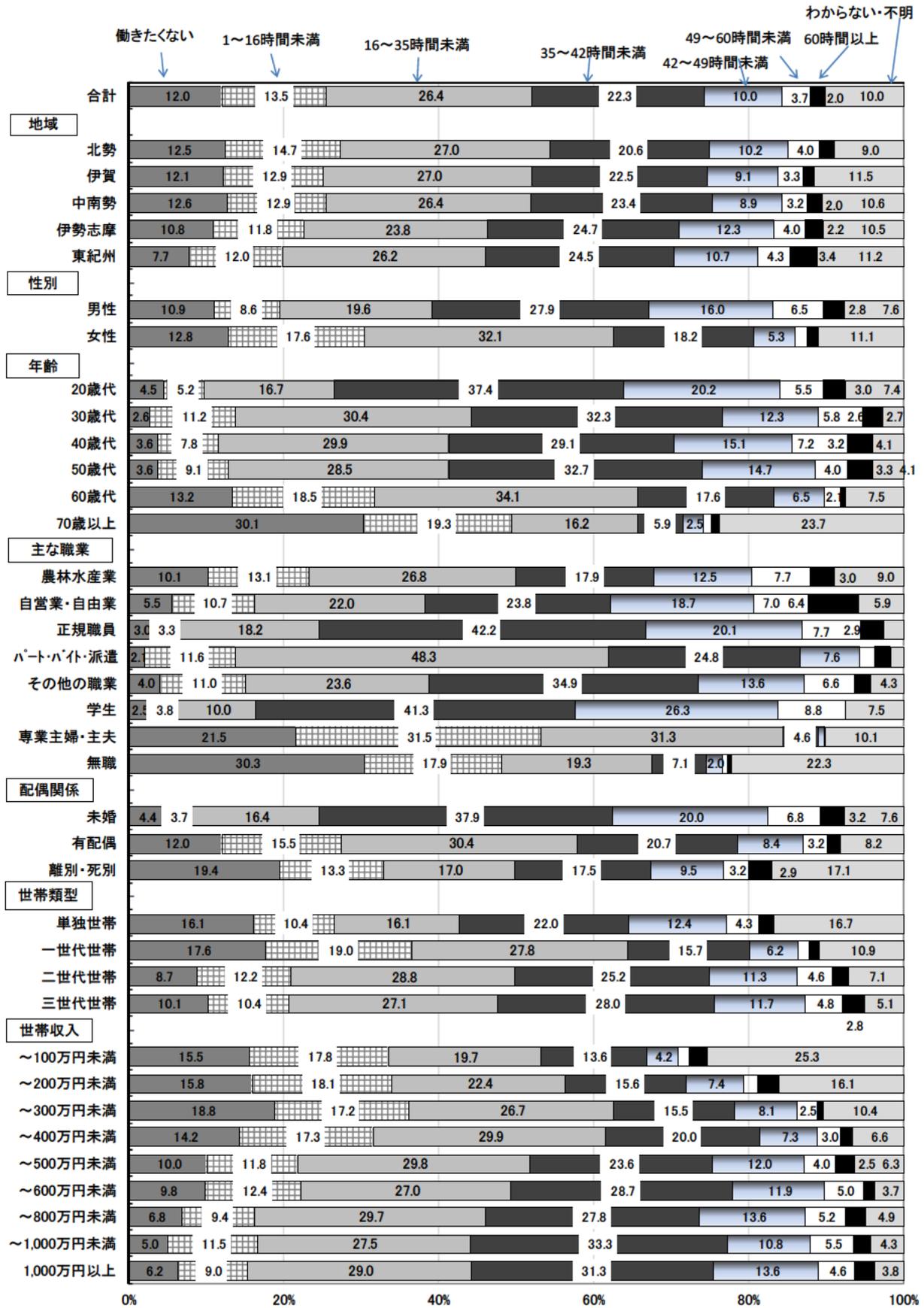
○ 属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

- ・男性は「35～42 時間未満」が 27.9%で最も高く、次いで「16～35 時間未満」（19.6%）、「42～49 時間未満」（16.0%）の順。
- ・女性は「16～35 時間未満」が 32.1%で最も高く、次いで「35～42 時間未満」（18.2%）、「1～16 時間未満」（17.6%）の順。
- ・パート・バイト・派遣は「16～35 時間未満」が 48.3%で最も高く、次いで「35～42 時間未満」（24.8%）、「1～16 時間未満」（11.6%）の順。
- ・専業主婦・主夫は「1～16 時間未満」が 31.5%で最も高く、次いで「16～35 時間未満」（31.3%）、「働きたくない」（21.5%）の順。
- ・無職は「働きたくない」が 30.3%で最も高く、次いで「16～35 時間未満」（19.3%）、「1～16 時間未満」（17.9%）の順。

図表 2-4-1 希望する就業時間



図表 2-4-2 希望する就業時間(属性別)

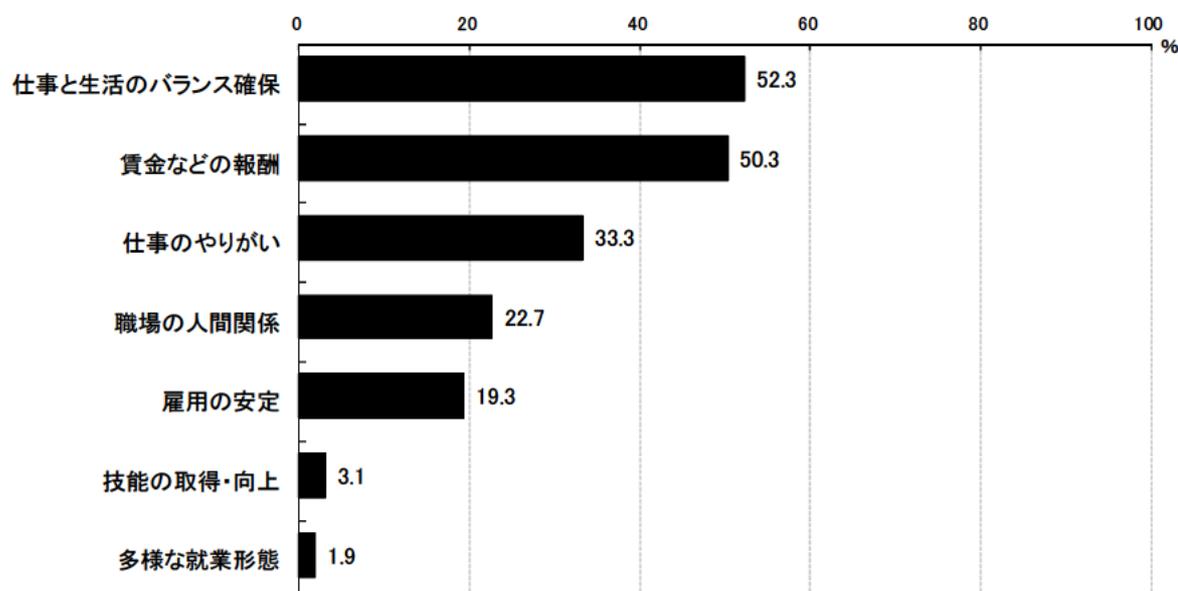


あなたが働く（収入のある仕事をする）にあたり、最も重視することは何ですか。あなたのお考えにもっとも近いものに2つまで○をつけてください。現在働いている方も、そうでない方も、**全員お答えください**。（○は2つまで） (問10)

➤ **働くにあたって重視すること**

- **働くにあたって重視することについて質問したところ、「仕事と生活のバランス確保」の割合が52.3%と最も高く、次いで「賃金などの報酬」(50.3%)、「仕事のやりがい」(33.3%)となっています。**
- **属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）**
 - ・ **女性は「仕事と生活のバランス確保」(59.1%)が男性より14.8ポイント、「職場の人間関係」(27.5%)が10.3ポイントそれぞれ高く、「賃金などの報酬」(46.5%)が8.4ポイント、「仕事のやりがい」(28.4%)が10.3ポイントそれぞれ低い。**
 - ・ **正規職員は「賃金などの報酬」(63.6%)が全体より13.3ポイント高く、主な職業別では最も高い。**
 - ・ **専業主婦・主夫は「仕事と生活のバランス確保」(68.1%)が全体より15.8ポイント高く、主な職業別では最も高い。**
 - ・ **学生は「仕事のやりがい」が50.0%で最も高く、次いで「賃金などの報酬」(43.8%)、「職場の人間関係」(38.8%)の順。**
 - ・ **40歳代は「賃金などの報酬」(57.4%)が全体より7.1ポイント高く、年齢(10歳階級)別では最も高い。**

図表 2-4-3 働くにあたって重視すること



図表 2-4-4 働くにあたって重視すること(属性別)

		仕事と生活のバランス確保	賃金などの報酬	仕事のやりがい	職場の人間関係	雇用の安定	技能の取得・向上	多様な就業形態
全体		52.3	50.3	<u>33.3</u>	22.7	19.3	3.1	1.9
地域	北勢	52.6	51.3	<u>32.7</u>	22.2	18.7	3.3	1.9
	伊賀	51.0	49.0	<u>32.9</u>	25.4	20.8	3.1	2.1
	中南勢	53.0	49.3	<u>35.4</u>	23.1	19.2	3.1	2.0
	伊勢志摩	52.1	51.6	<u>30.4</u>	22.3	21.1	2.7	1.9
	東紀州	49.3	46.1	<u>34.7</u>	21.0	16.4	2.7	0.9
性別	男性	44.3	54.9	<u>38.7</u>	17.2	22.2	4.3	1.7
	女性	59.1	46.5	<u>28.4</u>	27.5	16.9	2.1	2.0
年代	20歳代	43.0	52.3	33.7	<u>34.7</u>	22.0	6.0	0.8
	30歳代	56.8	55.9	23.7	<u>26.7</u>	20.6	2.8	3.0
	40歳代	53.0	57.4	<u>29.3</u>	22.0	22.9	2.1	2.3
	50歳代	50.7	55.2	<u>31.4</u>	24.0	20.8	2.6	0.7
	60歳代	57.3	48.3	<u>33.8</u>	20.4	15.5	3.0	2.2
	70歳以上	48.1	<u>38.4</u>	43.1	17.9	17.8	3.6	1.9
主な職業	農林水産業	53.2	<u>39.1</u>	53.2	11.5	12.2	4.5	0.6
	自営業・自由業	55.0	48.5	<u>44.1</u>	10.5	10.5	6.3	2.1
	正規職員	42.2	63.6	<u>33.4</u>	20.5	27.1	3.3	1.2
	パート・アルバイト・派遣	60.6	55.9	23.1	<u>25.4</u>	19.4	1.3	1.6
	その他の職業	44.9	56.4	<u>32.1</u>	21.6	26.0	1.7	2.7
	学生	35.0	43.8	50.0	<u>38.8</u>	21.3	8.8	-
	専業主婦・主夫	68.1	38.5	27.0	<u>30.0</u>	10.7	2.3	2.6
	無職	48.5	<u>37.2</u>	38.0	24.4	18.4	3.5	2.6
配偶関係	未婚	40.1	51.7	<u>33.2</u>	30.7	27.3	4.3	1.6
	有配偶	56.3	50.6	<u>33.4</u>	20.8	17.2	2.7	1.9
	離別・死別	44.4	47.4	<u>31.2</u>	25.1	22.0	4.0	2.1
世帯類型	単独世帯	43.1	45.6	<u>34.2</u>	28.4	20.2	3.7	4.2
	一世代世帯	53.5	45.3	<u>37.9</u>	20.6	17.4	3.1	1.9
	二世帯世帯	54.4	53.8	<u>31.0</u>	21.8	19.8	3.1	1.7
	三世帯世帯	52.5	55.5	<u>30.5</u>	25.0	19.6	1.5	1.7
世帯収入	～100万円未満	49.2	37.3	<u>28.8</u>	24.3	26.0	2.3	0.6
	～200万円未満	49.3	50.0	<u>29.6</u>	21.3	20.8	3.1	1.5
	～300万円未満	51.7	48.6	<u>33.4</u>	24.1	17.7	2.6	2.4
	～400万円未満	56.1	50.6	<u>33.8</u>	22.3	17.1	1.9	2.1
	～500万円未満	55.5	55.6	<u>28.7</u>	20.5	19.1	4.0	2.2
	～600万円未満	54.2	50.5	<u>30.5</u>	24.1	19.0	3.9	1.6
	～800万円未満	53.9	51.3	<u>31.6</u>	25.8	21.2	2.5	2.1
	～1,000万円未満	51.5	54.7	<u>39.8</u>	18.2	17.4	3.2	2.2
1,000万円以上	49.7	54.5	<u>44.7</u>	16.6	17.6	4.3	1.1	

凡例： **第1位** **第2位** **第3位**

あなたは、生活費が足りないと感じる時はありますか。次の中から、あなたの実感にもっとも近いものを1つだけ選んでください。(○は1つだけ) (問11)

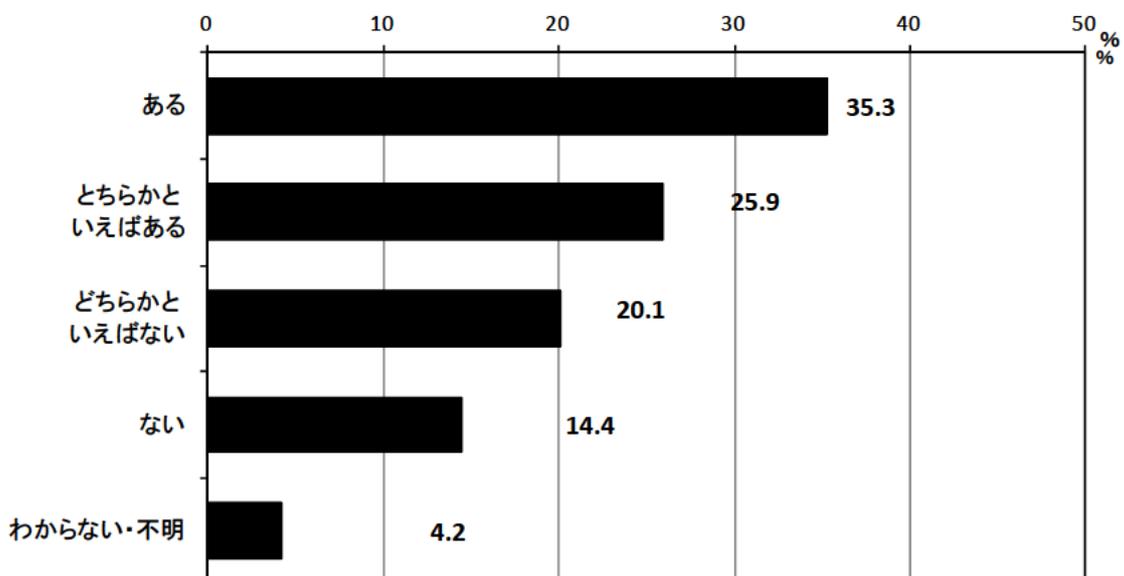
➤ 生活費の不足感

○ 生活費が足りないと感じる時があるかを質問したところ、「ある」が 35.3%と最も高く、次いで「どちらかといえばある」(25.9%)、「どちらかといえばない」(20.1%)、「ない」(14.4%)となっています。「ある」と「どちらかといえばある」の「不足を感じる層」が 61.2%で「どちらかといえばない」と「ない」の「不足を感じない層」(34.5%)を 26.7ポイント上回っています。

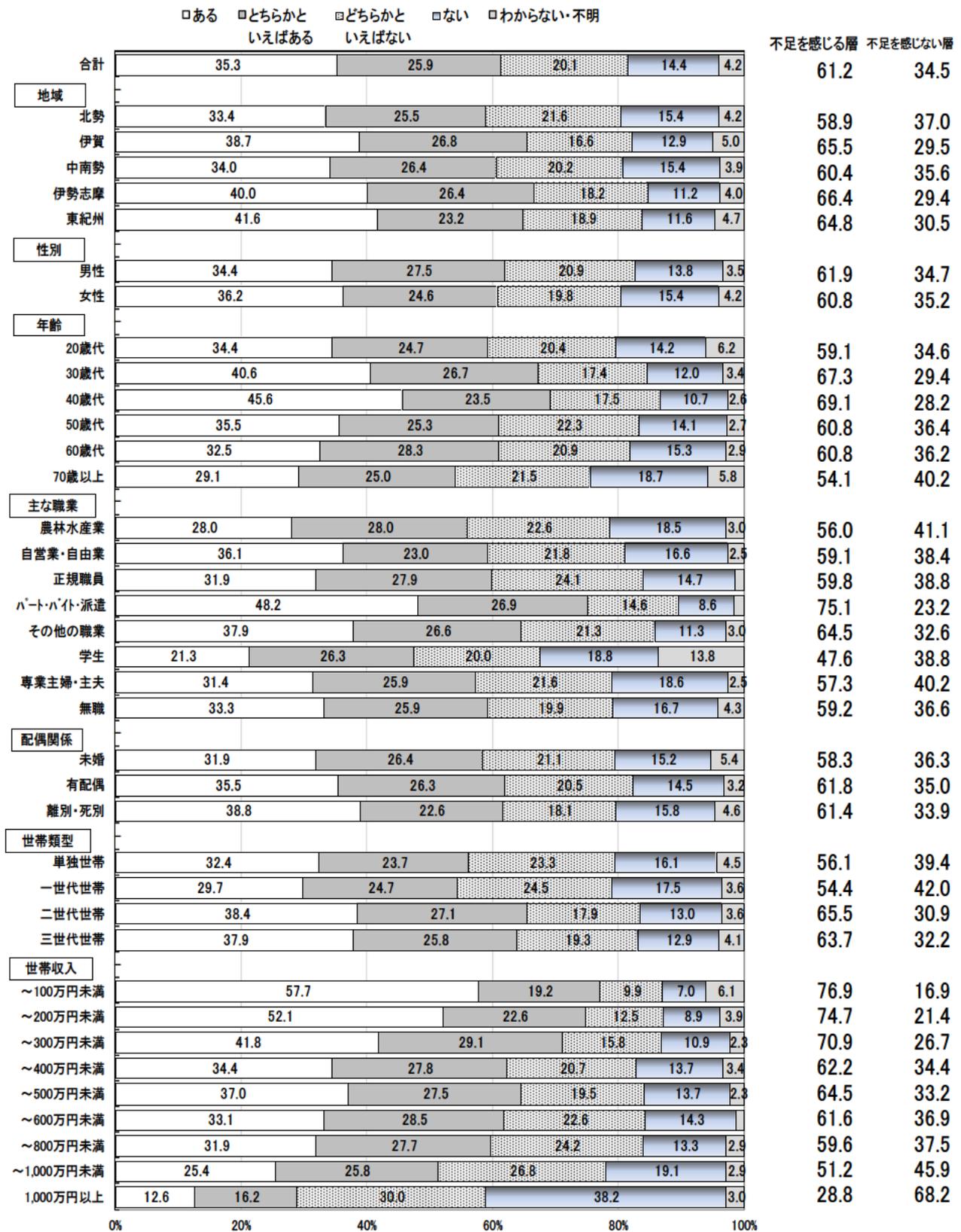
○ 属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)

- ・年齢(10歳階級)別では、40歳代の「不足を感じる層」の 69.1%が最も高く、次いで30歳代(67.3%)、50歳代と60歳代の 60.8%の順。
- ・主な職業別では、パート・バイト・派遣の「不足を感じる層」の 75.1%が最も高く、次いで正規職員(59.8%)、無職(59.2%)の順。
- ・世帯類型別では、二世帯世帯の「不足を感じる層」の 65.5%が最も高く、次いで三世帯世帯(63.7%)、単独世帯(56.1%)の順。
- ・世帯収入別では、100万円未満の層の「不足を感じる層」の 76.9%が最も高く、次いで100～200万円未満(74.7%)、200～300万円未満(70.9%)の順。

図表 2-4-5 生活費の不足感



図表 2-4-6 生活費の不足感(属性別)



あなたの主な職業は何ですか。(〇は1つだけ)

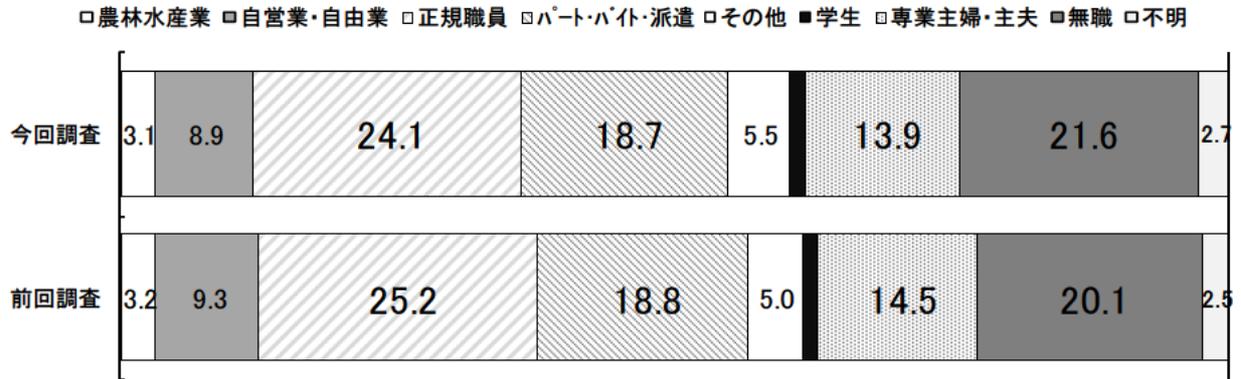
問 1 2

➤ 主な職業

○ 主な職業の構成割合は、「農林水産業」が 3.1%、「自営業、自由業」が 8.9%、「正規職員」が 24.1%、「パート・バイト・派遣」が 18.7%、「その他の職業」が 5.5%、「学生」が 1.5%、「専業主婦・主夫」が 13.9%、「無職」が 21.6%となっています。

前回調査と比較すると、「正規職員」が 1.1 ポイント低くなり、「無職」が 1.5 ポイント高くなっています。

図表 2-4-7 主な職業



(問12の主な職業で、「農林水産業」、「自営業、自由業」、「企業、役所、団体などの正規職員」、「パート、アルバイト、派遣社員など」、「その他、収入のある仕事」と回答した方に)

通常、1週間に働く時間(残業時間を含み、通勤時間は除く)はどのくらいですか。

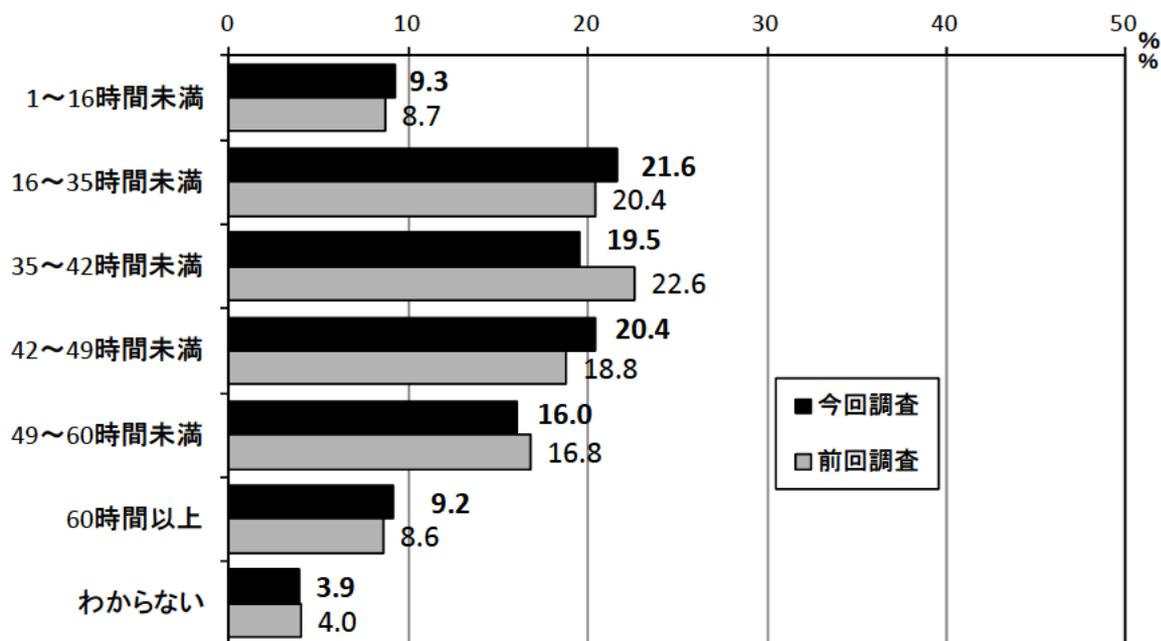
問12-2

➤ 1週間の平均的な就業時間

- 1週間の平均的な就業時間は、前回調査では「35～42時間未満」が最も高くなっていましたが、今回調査では「16～35時間未満」が21.6%で最も高く、次いで「42～49時間未満」(20.4%)、「35～42時間未満」(19.5%)の順となっています。

前回調査と比較すると、「16～35時間未満」が1.2ポイント、「42～49時間未満」が1.6ポイントそれぞれ高くなり、「35～42時間未満」が3.1ポイント低くなっています。

図表 2-4-8 一週間の平均的な就業時間



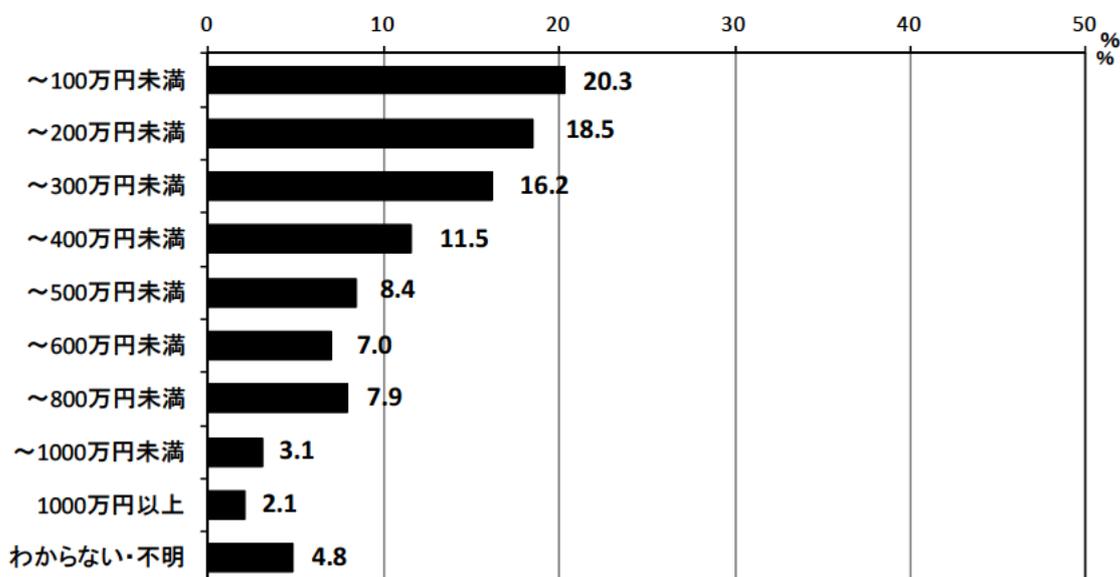
(問12の主な職業で、「農林水産業」、「自営業、自由業」、「企業、役所、団体などの正規職員」、「パート、アルバイト、派遣社員など」、「その他、収入のある仕事」と回答した方に)

あなたご自身の年間収入(税込み)はどのくらいですか。次の中から選んでください。(〇は1つだけ) **問12-3**

➤ 個人の年間収入

- 個人の年間収入について質問したところ、「100万円未満」の割合が20.3%と最も高く、次いで「100～200万円未満」(18.5%)、「200～300万円未満」(16.2%)となっています。
- 属性や属性項目における主な特徴は次のとおりです。(※統計的有意性は未確認)
 - ・男性は「200～300万円未満」が16.5%で最も高く、次いで「300～400万円未満」(14.5%)、「600～800万円未満」(12.7%)の順。
 - ・女性は「100万円未満」が31.9%で最も高く、次いで「100～200万円未満」(27.3%)、「200～300万円未満」(16.0%)の順。
 - ・正規職員は「200～300万円未満」が18.8%で最も高く、次いで「300～400万円未満」(17.0%)、「600～800万円未満」(16.6%)の順。
 - ・パート・バイト・派遣は「100万円未満」が45.2%で最も高く、次いで「100～200万円未満」(36.6%)、「200～300万円未満」(11.7%)の順。

図表 2-4-9 個人の年間収入



図表 2-4-10 個人の年間収入(属性別)

